

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日: 31年 2 月 15 日

事業所名: 児童デイサービス ドルフィン

| 区分 | チェック項目 | 現状評価・改善目標・内容 |
|---------|--|---|
| 環境・体制整備 | 1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保 | ドルフィンの活動に応じたスペースは確保できている。 |
| | 2 職員の適切な配置 | プログラムには職員のスキルを活かし適時適所で配置している。 配置人数は適切。 |
| | 3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備 | 本人にはわかりやすい構造にはなっているが、施設の構造上、バリアフリー化が難しい所もある。 |
| | 4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保 | 児童退所後、毎朝の清掃・消毒を徹底している。 空気清浄機の設置。 心地よい場所の提供を心がけています。 |
| 業務改善 | 1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画 | 職員で定期的にケース会議を行っています。 毎朝のミーティングで日々振り返りを行っています。 |
| | 2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施 | 外部施設の方の見学も受け入れ、意見をいただき参考にしています。 |
| | 3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保 | 職員が参加した研修は他の職員に共有する時間を設けています。 |
| 適切な支援の | 1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成 | 保護者の面談や日々の情報交換を行い現状を把握し、今必要な課題を見つけ計画に取り入れる。 |
| | 2 子ども状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成 | 日々ケース検討を行い、児童の状況に応じて計画を進めている。 |

| 区分 | チェック項目 | 現状評価・改善目標・内容 |
|--------------|--|---|
| 提供 | 3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載 | できている。 |
| 適切な支援の提供（続き） | 4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施 | 現状プログラムの中で一人一人に添った支援をすることは難しいが、余暇を使って児童の課題に添った支援をすることは可能。（プリントの準備等） |
| | 5 チーム全体での活動プログラムの立案 | できている。 |
| | 6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援 | できている。 |
| | 7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施 | 内容に変化をつけている。 イベントも同じ内容にならないように、日々試行錯誤し実施している。 |
| | 8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底 | 適宜行っている。 |
| | 9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化 | 適宜行っている。 |

| 区分 | チェック項目 | 現状評価・改善目標・内容 |
|----------|---|--|
| | 10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施 | ケース記録・業務日誌。 |
| | 11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し | 行っている。 |
| 関係機関との連携 | 1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画 | 全員セルフプラン利用の為、担当者会議の招集がありません。 |
| | 2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施 | なし。 |
| | 3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備 | うすく小児クリニックの宇宿先生との相談やアドバイスをいただく等の体制をとっています。 |
| | 4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有 | 児童の引継ぎの際、学校職員に様子を聞き共有している。 |
| | 5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、 | まだ卒業生はいません。(平成31年2月時点) |

| 区分 | チェック項目 | 現状評価・改善目標・内容 |
|----------|---|---|
| | 6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進 | 研修に参加している。 定期的に研修案内をいただき、必要な研修には参加しています。 |
| | 7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供 | なし。 今後、検討していきます。 |
| | 8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営 | 地域のボランティアを招集したことがあります。 |
| 保護者への説明責 | 1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明 | 個別支援計画を面談時に説明し始めました。 |
| | 2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明 | 行っている。 |
| | 3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施 | 現在行っていません。 今後アンケートをとる等、検討していきたい。 |
| | 4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底 | 丁寧に伝えている。 |
| | 5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施 | 電話相談も受けています。 |

| 区分 | チェック項目 | 現状評価・改善目標・内容 |
|------|--|--|
| 連携支援 | 6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援 | ふれあい会という名目で行っている。 活動の様子等、スライドショーにして鑑賞してもらっています。 その際に意見交換の時間も設けています。 |
| | 7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応 | 「報告・連絡・相談」を職員内で常に迅速に行っています。 |
| | 8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮 | 個人情報の取り扱いに配慮しています。 連絡帳での報告。 イベント時には、しおりを作成して児童にも分かりやすく事前に説明し配布しています。 |
| | 9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信 | おたより・HP・ブログを定期的に更新し丁寧に伝えていきます。 |
| | 10 個人情報の取扱いに対する十分な対応 | 個人情報は鍵付きのロッカーを整理し、保管の必要のない物はその都度シュレッダーで処分しています。 |
| 非常時等 | 1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底 | 保護者にはしていません。おたよりでマスクなどの呼びかけ、ブログで感染症対策で何をしているかを掲載しています。 |
| | 2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施 | 避難訓練を定期的に行っています。 |
| | 3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応 | 年1回行っています。 新人スタッフには入社時に行っています。 |

| 区分 | チェック項目 | 現状評価・改善目標・内容 |
|----------|---|--|
| 母の 対応 | 4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載 | 面談時に説明を行っています。 |
| | 5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応 | アレルギーがあるかどうか事前に聞いています。 今はアレルギーのある児童はいません。 書面で保護者の方に記入していただき、面談時に確認しています。 |
| | 6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底 | 行っています。 |